

1月4日(木曜日)

(第675号)

平成30年(2018年)

# 全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>

迎春



# 新年ご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 吉 条 良 明

新年おめでとうございませす。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の森林資源は着実に成熟し、特に人工林の蓄積量はこの半世紀で約5.4倍に達し、まさに利用期を迎えています。

成長する木材資源を活用し、将来に亘って森林を健全に保っていくためには、「伐つて、使つて、植えて、育てる」循環利用のサイクルを早急に確立していくことが急務となっております。

こうした中で、昨年末に決定された平成30年度の税制改正大綱により、森林・林業・



木材産業界にとって長年の悲願でありました「森林環境税」が創設されたことは、大きな成果・前進であり、関係行政機関及び森林・林業・木材産業界関係者の方々のこれまでのご尽力に改めて深甚なる敬意と謝意を捧げる次第です。

全木連においては2014年の全森連と全木連による「ウッドファースト社会」の実現に向けた共同宣言」以来、「木材利用拡大なくして森林・林業の活性化は成しえない」との認識のもと、川上、川下の関係者が一体となつて、木材離れが進んだ社会の流れをも一度木材を優先して利用する方向に変えていこうという運動に取り組んできたところであり、昨年10月には、広く川上から川下をカバーする日本林業協会、全森連、全木連、日本林業経営者協会、全国素材生産業協同組合連合会、全日本木材市場連盟の6団体による共同行動宣言を行い、更なる活動強化を表明したところです。

界との連携が進むとともに、「2016日本再興戦略」において「公共建築物等木材利用促進法の見直しを含め、これまで木造によることの少なかった建築物等の木造・木質化の推進に向けて更なる施策を検討する」との記述が盛り込まれるとともに、「2017未来投資戦略」においても林業の成長産業化に向けたより積極的で効果的な施策の展開の必要性が明記され、森林・林業・木材産業界が一体となつた行動の成果が着実に現われ始めています。

一方、我々木材業界を取り巻く状況をみますと、木材需要の大宗を占める住宅の着工戸数は、昨年も年間九十万戸を超えるペースと推測されていますが、中長期的にみれば少子化等の影響により、今後大幅に減少していくことが避けられないと言われており、これまでの住宅を主体とした木材利用拡大対策とともに、非住宅を対象とした利用拡大対策に取り組んでいくことが必要となつてきています。

今、耐火性や耐震性などが飛躍的に向上した木製部材の開発・実用化により、都市建築に木材を使っていく流れが急速に進んで来ています。また、国交省では、建築基準法の改正による内装制限の緩和などが検討されていると聞いており、非住宅需要の多い都市部での木材利用の促進を図るための条件が整いつつあります。

こうした状況の下で、我々全木連では、都市部での木材利用拡大への流れをさらに加速していくため、設計者・施工者、建築系の団体などとの連携・協調や東京、大阪をはじめとした大消費地を中心とした都市部の自治体や企業などの理解を得ていくための普及活動やPR戦略についても一層の強化を図っていくこととしていきます。

晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げますとともに、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで40年 中型グループ

ケガ・病氣入院などの備えに	従業員のために中型グループ	総合賠償補償制度	第3者への事故対策に
	経営者のために総合保障プラン	任意労災保障制度	労働災害への対策に
		木退共	従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215 (代)

# 年頭のご挨拶

全国木材協同組合連合会

会長 坂東 正一郎



資源を有効に活用し、「伐つて、使つて、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を確立していくことが重要であるとの国民の共通の理解が着実に高まり、マスコミ等での発信が増えつつあることは歓迎すべきことです。

新年おめでとうございませう。輝かしい新年の年頭に当たり一言ごあいさつ申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、九州北部豪雨、台風19号、21号の列島縦断、異常高温や超低温など、異常気象が際立った年となりました。

また、「パリ協定」からの米離脱などがありました。地球温暖化対策への対応は、待ったなしとの共通認識が高まって来ています。

こうした中で、森林の二酸化炭素を吸収・固定する機能を高めていくためには、木材

公共建築物等の木造化等も着実に進んできておりますが、こうした流れを更にしっかりと設計や建築に携わっている設計士や建築士の人材育成に、我々木材業界として積極的な支援や協力活動を進めていくことが必要です。建築物のデザインや設計に携わる方々が、木材に何を求め、どのような情報を欲しているのかをきちんと把握し、分析し、具体的な対策を日頃から吟味・検討し、具体的な行動に移していくことが重要と考えます。これからの木材需要の転換期を見越して、これら設計や施工に関わる業界の方々との

連携の輪を広げ、知見と実績を積み重ねつつ、具体的な行動に発展させていく実践力が、今、我々に求められています。私も全国木材協同組合連合会としては、こうした課題に因應するため、木材利用促進のための利子助成やリースに対する支援、共同事業・共済事業を推進しております。本年におきましても、これらを通じ供給体制の整備などに取

り組んでいくこととしておりますので、引続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。第であります。最後にありますが、本年が木材産業界並びに皆様方にとって、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 勲章・褒章受章者名簿 (平成29年秋)

### 勲章受章者 (敬称略)

#### — 木材業振興功労 —

- 旭日小綬章 戸 栗 敏 (元(一社)全国木材組合連合会理事 元(一社)山梨県木材協会代表理事)
- 旭日小綬章 西村亮彦 (一社)全国木材組合連合会理事 富山県木材組合連合会会長)
- 旭日小綬章 林 紀一郎 (一社)全国木材組合連合会理事 栃木県木材協同組合連合会理事)
- 旭日双光章 佐川廣興 (福島県木材協同組合連合会副会長 協和木材(株)代表取締役)

#### — 林業振興功労 —

- 旭日小綬章 榎本長治 ((一社)日本林業経営者協議会会長 (一社)全国木材組合連合会理事 和歌山県木材協同組合連合会会長)

#### — 労使紛争調整功労 —

- 旭日双光章 大久保憲作 (元(社)岡山県木材組合連合会副会長 元県労働委員会委員)

### 褒章受章者 (敬称略)

#### — 木材業関係 —

- 黄綬褒章 平方 宏 ((一社)群馬県木材組合連合会副会長 平方木材(株)代表取締役)
- 黄綬褒章 長谷川 健治 (前全国木材協同組合連合会監事 元東京原木協同組合理事長 (株)長谷川萬治商店代表取締役)
- 黄綬褒章 中川 俊勝 (協栄木材(株)会長)
- 黄綬褒章 中嶋 修三 (中嶋木材店代表)

## 第五十三回 全国木材産業振興大会

平成三十年十月十八日(木) 広島市で開催

☆木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう!



# 景況調査

平成29年11月分集計表 ( )内は実数  
モニター数136 回答数65 回収率48%

## 【流通部門】

当月の状況

販売量	増加34% (22)	変わらず52% (34)	減少14% (9)
仕入量	増加34% (22)	変わらず54% (35)	減少12% (8)
販売価格	上昇14% (9)	変わらず85% (55)	下降2% (1)
仕入価格	上昇43% (28)	変わらず57% (37)	下降0% (0)

来月の見通し

販売量	増加26% (17)	変わらず65% (42)	減少9% (6)
仕入量	増加25% (16)	変わらず63% (41)	減少12% (8)
販売価格	強含み28% (18)	保ち合い72% (47)	弱含み0% (0)
仕入価格	強含み29% (19)	保ち合い71% (46)	弱含み0% (0)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	48% (25)	48% (25)	4% (2)
南洋材	28% (13)	65% (30)	7% (3)
北洋材(欧州材を含む)	31% (15)	65% (31)	4% (2)
国産材	21% (13)	74% (46)	5% (3)
建材	25% (12)	71% (34)	4% (2)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	29% (14)	53% (26)	18% (9)

## 【製造部門】

モニター数144 回答数78 回収率54%

当月の状況

販売量	増加41% (32)	変わらず56% (44)	減少3% (2)
仕入量	増加45% (35)	変わらず50% (39)	減少5% (4)
販売価格	上昇15% (12)	変わらず85% (66)	下降0% (0)
仕入価格	上昇40% (31)	変わらず59% (46)	下降1% (1)

来月の見通し

販売量	増加22% (17)	変わらず54% (42)	減少24% (19)
仕入量	増加24% (19)	変わらず58% (45)	減少18% (14)
販売価格	強含み19% (15)	保ち合い79% (62)	弱含み1% (1)
仕入価格	強含み33% (26)	保ち合い62% (48)	弱含み5% (4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	64% (16)	32% (8)	4% (1)
南洋材	35% (6)	65% (11)	0% (0)
北洋材(欧州材を含む)	43% (9)	48% (10)	10% (2)
国産材	28% (21)	65% (48)	7% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	45% (14)	35% (11)	19% (6)

12月21日(木)に、二階俊博自由民主党幹事長一行が新木場の木材会館を訪れた。全木連との勉強会で内装制限の緩和等を検討している国土交通省からは、秋元副大臣、伊藤住宅局長外、林野庁からは沖長官外が随行した。視察後、幹事長と秋元副大臣は多くの国会議員が木材会館で木材の良さについて理解することが林業、木材産業の成長産業化

## 自民党幹事長が木材利用推進にエール

を進める上で重要との認識を共有された。随行者は、以下の通り。

梅沢幹事長秘書、大下英治(作家)  
国土交通省：秋元司副大臣、吉岡誠一郎秘書官、伊藤明子住宅局長、淡野博久建築指導課長、武井利行木造住宅振興室長、松井康治建築指導課企画専門官  
林野庁：沖修司長官、武田義昭調査官、宮脇滋木材利用課課長補佐



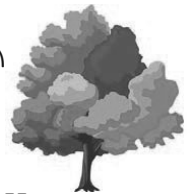
前列左から、秋元副大臣、吉条会長、二階幹事長

## 林業・木材産業の皆様の融資を支援いたします。

当基金は、法律により国や都道府県の出資をもとに設立された公的機関で、昭和38年の林業信用保証制度の創設以来、多くの皆様にご利用いただいております。

「銀行から融資を受けたいけれど…」とお考えの林業・木材産業の経営者の皆様、もしも返済できなくなった場合に当基金が返済を肩代わりする債務保証を利用すれば、融資が受けやすくなります。

- 事業に必要な資機材の購入、人件費や燃料費の支払い
  - 災害等で事業に入れない期間の掛かり増し経費
  - 事業規模の拡大
- などで一時的な資金が必要な方にもご利用いただけます。



まずはお近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口へお気軽にご相談ください。



## 独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(J-ビル11階)  
TEL:03(3294)5585~5586 FAX:03(3294)5595  
URL:http://www.jaffic.go.jp

## 第9回新たな「木材利用」事例発表会

日時：平成30年2月6日(火) 13時~17時  
場所：木材会館7階ホール

(江東区新木場1-18-8)

主催：(一社)全国木材組合連合会

後援：林野庁、国土交通省、(公財)木材利用推進中央協議会

日本住宅・木材技術センター

(一財)日本木材総合情報センター

定員：200名

(一般消費者、建築、設計、木材関連)

# 平成29年重大ニュース

一月

山本有二農林水産大臣  
の木材会館訪問



前列、左から山本大臣、吉兼会長、秋元可楽議院議員

三月

全木連・全木協連等理事会・  
事務局長会議



二月

第八回「新たな木材利用」事例発表会

## 第 8 回「新たな木材利用」事例発表会 ～ 木の学びやと木のまちづくりの動向 ～

日 時：平成 29 年 2 月 23 日 (木) 13:00～17:00  
場 所：木材会館 7 階 大ホール

主催：(一社)全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会  
後援：林野庁、国土交通省、(公財)日本住宅・木材技術センター  
(一財)日本木材総合情報センター

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 林野庁挨拶
- 4 事例発表

### 第 1 部 「基調講演」

「木材を活用した学校施設のリノベーションによる地域活性化」  
東洋大学名誉教授 教育環境研究所理事長 長澤 悟 氏

### 第 2 部 「木材を使った街づくり」事例とその評価

ア 鶴岡市における公共施設への木材利用 (事例：朝日中学校)  
鶴岡市 建設部建築課技師 後藤 章子 氏

イ 都市の木造化・木質化の提案と実践  
NPO 法人 team Timberize 理事 株式会社 HUG 代表取締役 山田 敏博 氏

ウ 大型木造医院・新柏クリニック建設へのこだわり  
新柏クリニック前理事長 木村 靖夫 氏

エ 流通材を生かした大型木造建築の可能性  
SMB 建材株式会社 木構造建築部 部長 小川 嘉男 氏

参考報告 国産材マークの現状と課題

- 5 閉会

四月

クリーンウッド法  
公開セミナー等の実施



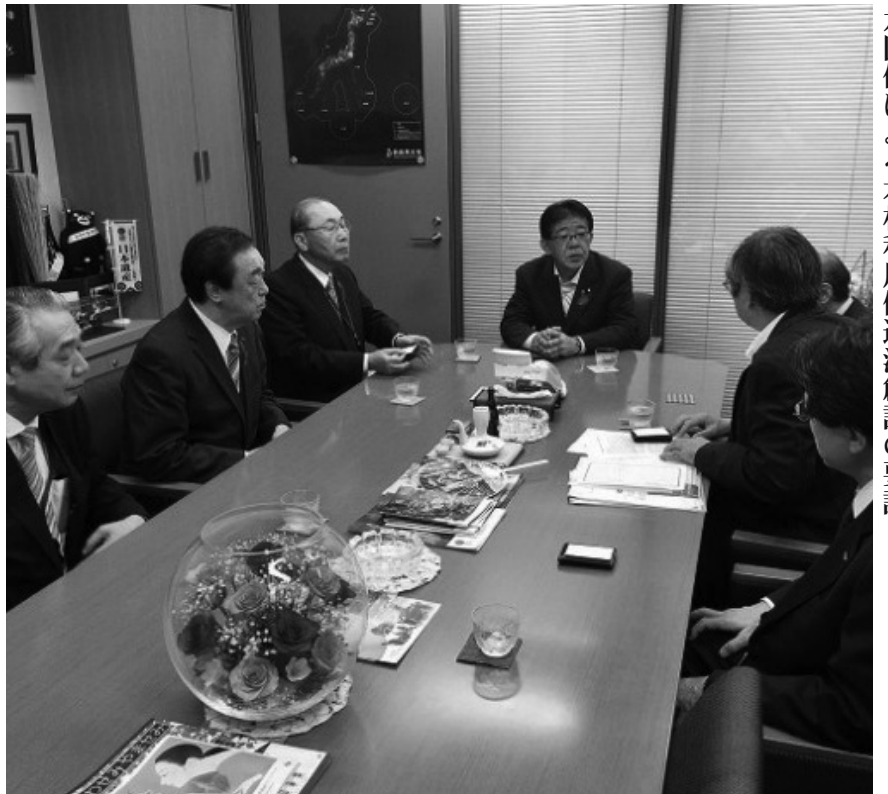
1 月から 12 月までの間、44 箇所で開催

五月

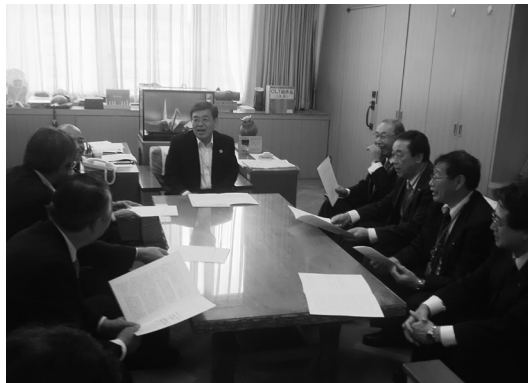
全木連・全木協連・全木政連・  
木退共通常総会



六団体による木材利用促進法創設の要請



金子恭之林政小委員会(現林政対策委員会)委員長(金子議員HPから)



今井敏林野庁長官



沖修司林野庁次長





六月  
東京おもちゃショーへの出展



八月  
説明会  
森林・林業・木材関係施策

長官はじめ林野庁幹部と意見交換

**平成29年度木材利用推進「全国会議」**  
— 木の街づくりの推進に向けて —

日時：平成29年7月31日(月) 13時から17時30分  
場所：木材会館 7階 大ホール

主催：木材利用推進中央協議会  
後援：(公社)国土緑化推進機構

第1部 木材利用推進「全国会議」(木材利用推進中央シンポジウム)

- 1 木材利用推進中央協議会会長挨拶
- 2 来賓挨拶  
林野庁  
国土交通省
- 3 公共建築物・街づくり等木材利用推進の取組み(国の施策・取組み)
  - ① 林野庁 林政部木材利用課 玉置 賢 課長
  - ② 国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室 村上 幸司 室長
  - ③ 文部科学省 官房文教施設企画部施設助成課 益居 統 課長補佐
- 4 木の街づくりへの取組み事例  
真庭市落合総合センター、京都市上京区総合庁舎など  
講師 株式会社 東畑建築事務所 中村 文紀 理事 設計統括
- 5 講演  
中高層木造建築物の耐火及び新潟県糸魚川大火の教訓  
講師 安井 昇 桜設計集団一級建築士事務所 代表

~~~~~ 推進活動宣言 ~~~~~

第2部 平成29年度木材利用優良施設・表彰式  
主催：木材利用推進中央協議会 後援：農林水産省

- (1) 審査講評 審査委員長
- (2) 賞状授与 ①農林水産大臣賞  
②林野庁長官賞  
③木材利用推進中央協議会会長賞
- (3) 祝辞 林野庁長官
- (4) 謝辞 受賞者代表

七月  
平成二十九年度木材利用推進「全国会議」



8月~11月までに、5会場で実施

JAS製材品普及推進展示会の審査会



国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会も設立

十月  
森林・林業の再生に向けた共同行動宣言2017署名式



秋元司国土交通副大臣

九月  
国土交通省に対する木材利用促進法創設の要請



自民党農林部会で予算のお礼を述べる吉条会長



軽油引取税特例措置の3年間延長：野村農林部会長

十二月  
要望活動  
平成三十年度税制改正・予算



十一月  
第五十二回  
全国木材産業振興大会(奈良大会)